

市街地における歩行実態と歩きやすい街路空間に関する研究

姜, 気賢

<https://doi.org/10.15017/1785344>

出版情報：九州大学, 2016, 博士（工学）, 課程博士
バージョン：
権利関係：全文ファイル公表済



氏 名	姜 気賢			
論 文 名	市街地における歩行実態と歩しやすい街路空間に関する研究			
論文調査委員	主 査	九州大学	教授	坂井 猛
	副 査	九州大学	准教授	趙 世晨
	副 査	九州大学	准教授	外井 哲志
	副 査	佐賀大学	教授	有馬 隆文

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本論文は、福岡市全域のパーソントリップ調査データに基づき、人々の移動は、個人の属性や目的によって移動手段が異なり、都心、広域拠点、鉄道駅周辺の地域特性に関係することを示したうえで、住民を対象としたアンケート調査により、施設の近接性や充実度、アクセスの容易性などの環境的要因が、歩く行為に影響することを明らかにした。また、春吉地区を対象とした物的環境調査、歩行者通行量調査、被験者に対する印象評価実験により、歩行者は商業施設が沿道に立地している広幅員の街路を好んで歩く傾向があること、歩行ルートを決める場合には目的地までの最短距離等を重視すること、歩行者の意識と歩行実態との差異をふまえた街路の整備の必要性、公園の緑などの街路に入りたくなる要因に関する重要な指摘を行っており、都市計画学に寄与するところが大きい。よって、本論文は博士（工学）の学位に値するものと認める。